



# 新しい日本を創るため、共に働きませんか

国際戦略局技術政策課研究推進室課長補佐

## 影井 敬義 KAGEI Takayoshi

平成 16年 4月 総務省採用  
 同 情報通信政策局放送技術課  
 平成 18年 8月 同 大臣官房総務課  
 平成 19年 7月 国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室  
 情報システム係長  
 平成 21年 7月 総務省情報通信国際戦略局主査(通信・放送総合戦略担当)  
 平成 22年 7月 同 情報通信国際戦略局参事官補佐(通信・放送総合戦略担当)  
 併任 情報流通行政局放送政策課長補佐  
 平成 23年 7月 同 大臣官房企画課課長補佐  
 平成 24年 7月 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付  
 参事官補佐(資源配分担当)  
 平成 26年 8月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
 課長補佐  
 平成 28年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐  
 平成 30年 4月 併任 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
 番号企画室課長補佐  
 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
 課長補佐  
 令和 元年 7月 現職

### ICTを軸とした様々な仕事

総務省は、年々重要性が増しているインフラであるICTを軸に様々な仕事に関わることができるのが魅力だと思っています。

自分はこれまで、比較的国际関係の仕事を担当することが多く、直近では、他国との衛星周波数調整の仕事を担当していました。特に、2国間の調整は日本代表団で出張するか(アウェー)、他国代表団に来てもらい(ホーム)、一週間ほど白熱した議論を行うもので、代表団をとりまとめつつ、日本の権益確保のために仕事をするのはやりがいがあるものでした。

### 様々な仕事での新たな発見と気づき

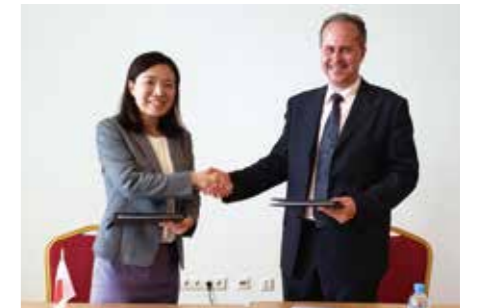
現在は、行政手続の電子申請、パブリック・コメントの意見提出等をインターネットから行えるサイトであるe-Govの開発・運用を担当しています。利用する国民、受け取る各省庁各々に、より使いやすく便利なデザインとするため、当事者とも直接とことん議論を行っていきます。国として、国民にどのようなものを提供するか利用者目線も理解しつつ検討することは、

国際業務とはまた違ったやりがいがあります。数年で全く異なる部署に異動するので、そのたびに異なる新たな発見と気づきがあります。

### 仕事と育児の両立もICTのおかげ

ところで、働きながら子育てをするには、子供の急な発熱など、急遽仕事と調整しながらの対応が必要なのが必ず出てきます。うちには小学生の子供がいますが、これまでピンチの時は、その都度状況に応じて、職場の同僚、家族の協力を得て、なんとか乗り切ることができてきました。しかし、コロナによる小学校の休校は長期間で、おそらく官民問わず多くの働く親が同様だったのではないかと思います。どう両立していけばよいのかと悩みました。でも、コロナ禍の出勤削減の中で、今の業務は全部テレワーク化できるはずとのスタンスで、チーム内で検討した結果、チーム内の出勤削減も実現しつつ、自分もテレワークの活用で、むしろ以前よりも両立がしやすく、効率的に仕事ができる環境が実現したのです。テレワークが容易にできるICTの発展、柔軟な働き方ができる総務省の環境、支えてくれる家族に感謝し

つつ、今後も新たな発見とやりがいを見いだしていきたいと思います。



国際周波数調整会議にて



e-Govに関する議論風景

人との接触回避、外出等の自粛、働き方の変革。オンライン化が急速に進展し、情報通信が日常生活や社会経済活動でますます重要となりました。これに行政官がどのように関わっているのかを業務経験から紹介します。

### 情報通信の安全と信頼性を守る法制度

電話やインターネット、デジタル放送などの情報通信インフラは、通信会社や放送局が運用・管理していますが、ライフラインとしての高い公共性から、総務省が設備基準や技術的対策を法令で定めています。

私は電気通信事業部(前職)でこの法令担当を担い、携帯電話の大規模な通信障害、固定通信網の完全IP化、増大するIoT機器のセキュリティ等に対応した基準や対策を定める電気通信事業法等の改正を行いました。

情報通信分野は、技術革新や市場環境の変化が速く、内容も専門的です。今の法令では対応できない社会的課題が生じ、市場経済だけでは利用者保護が不十分となれば、法制度を迅速に見直すことが重要な仕事です。

### 次世代の情報通信を創る研究開発

情報通信は、世の中全体に広く浸透しています。その産業規模は、情報通信が生み出す金銭価値にとどまらず、技術があらゆる分野に適用され、効率性や生産性が向上することで、新たな投資や製品・サービスを生み出し、結果として経済全体を底上げします。

国際戦略局(現職)では、次世代の情報通信インフラを支え、イノベーションの源泉となる技術を創るための研究開発の推進を担当しており、予算施策等の企画・立案や執行の仕事をしています。

国の研究機関である情報通信研究機構(NICT)を拠点として、5Gの次世代(Beyond 5G/6G)に向けて通信インフラを大容量化、高機能化する光伝送技術、重要情報を完全秘匿できる量子暗号通信、AIによる多言語同時通訳などの最先端技術の研究支援に力を入れて取り組んでいます。

### 皆さんへ

コロナ禍での就職活動では多くのご苦労が

あると思いますが、この激動の時代だからこそ、「情報通信」や「技術」を柱とした公共の仕事には大きなやりがいと醍醐味がありますよ。国難も乗り越え、新しい日本を創るために、志ある若い皆さんと一緒に仕事ができることを、心から楽しみにしています。



けいはんな情報通信オープンラボシンポジウムにて



家族でのステイケーション

# 多様な仕事と柔軟な働き方の実現

行政管理局行政情報システム企画課  
 情報システム管理室課長補佐

## 網野 尚子 AMINO Naoko

平成 17年 4月 総務省採用  
 同 情報通信政策局通信規格課  
 平成 19年 7月 文部科学省研究開発局参事官(宇宙航空政策担当)付  
 平成 20年 8月 同 研究開発局参事官付委員会係長  
 平成 21年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課専門職(産休・育休取得)  
 平成 25年 4月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課専門職  
 7月 外務省国際協力局国別開発協力第二課課長補佐  
 平成 28年 7月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室課長補佐  
 令和 元年 7月 現職

